

2年生

「生活科大きくなったわたし」出前授業

2月7日（金）にアルテミス宇都宮クリニックの青山昭子師長をお迎えして、お母さんのおなかの中で大きくなっていく様子をお話していただきました。実際におなかの中の赤ちゃんの心音を聞かせていただいたり、生まれたての赤ちゃんと同じくらい大きさ、重さの人形を抱かせていただいたり、お母さんのおなかから出てくる様子を再現したり、盛りだくさんな1時間でした。

1ミリよりも小さな受精卵だった、自分たちがお母さんの中でどのように大きくなり、どのように生まれてきたのか、実感できる授業でした。今後の授業に生かしていきたいと思います。



どんなお話が始まるのか、真剣なまなざしで聞いています。



中の黒い紙に、受精卵と同じ大きさの穴が開いていて、すかして大きさを確かめています。1か月で豆粒くらいの大きさになるのだそうです。



おなかの中の赤ちゃんの大きさをひと月ごとに
見せていただきました。





生まれた時と同じくらいの赤ちゃんのお人形を一人一人抱っこさせてもらいました。



お母さんの子宮を模した袋に入り、生まれたシーンを再現しました。お母さんも大変、赤ちゃんも大変、というのが実感できたようです。この子宮の袋は青山先生のお手製だそうです。



最後に紙芝居を読んでもらいました。赤ちゃんの生まれてくるのを楽しみにしている家族の様子が子どもたちには一番心に残ったようです。

